

ご使用に際して、この説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

芍薬甘草湯エキス〔細粒〕SH

「芍薬甘草湯」は漢方の原典とされる『傷寒論』^{しょうかんろん}に記載されている漢方薬で、急激に起こる筋肉のけいれんを伴う疼痛や、「下肢のけいれん性疼痛(こむらがえり)」、「胃腸の激しい痛み」、「腰の痛み」等に用いられます。

「芍薬甘草湯エキス〔細粒〕SH」は、2種類の生薬から抽出した「芍薬甘草湯」エキスを服用しやすい細粒にしました。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないこと

- (1) 生後3カ月未満の乳児
- (2) 次の診断を受けた人

心臓病

2. 症状があるときのみ服用にとどめ、連用しないこと



■ 相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 高齢者
- (4) 次の症状のある人
- (5) 次の診断を受けた人

むくみ
高血圧、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

まれに下記の重篤な症状が起こることがある
その場合は直ちに医師の診療を受けること

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる
うっ血性心不全、心室頻拍	全身のだるさ、動悸、息切れ、胸部の不快感、胸が痛む、めまい、失神等があらわれる
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる

3. 5～6回服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〈効能・効果〉

体力に関わらず使用でき、筋肉の急激なけいれんを伴う痛みのあるものの次の諸症：

こむらがえり、筋肉のけいれん、腹痛、腰痛

〈用法・用量〉

次の量を1日3回食前又は食間に、水又は白湯にて服用してください。
(食間とは、食後2～3時間を指します。)

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15才以上)	1包	3回
7才以上15才未満	2/3包	
4才以上7才未満	1/2包	
2才以上4才未満	1/3包	
2才未満	1/4包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。

〈成分・分量〉

成人1日量3包(6.0g)中に下記の生薬より得た芍薬甘草湯エキス(「漢方診療医典」、1/2量)1,800mg(乾燥物換算で約900mgに相当)を含みます。

シクヤク……………2.0g カンゾウ……………2.0g

添加物：メタケイ酸アルミン酸Mg、ヒプロメロース、乳糖水和物、トウモロコシデンプン、香料

保管及び取り扱い上の注意

- 1.直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 2.小児の手の届かない所に保管してください。
- 3.他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- 4.本剤は生薬を用いておりますので、製品によって色調が異なることがあります。効果には変わりありません。
- 5.1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
- 6.使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

■本製品内容についてのお問い合わせ先

おくすり相談室

☎0120-419-111

9時～18時まで(日、祝日を除く)

製造販売元 **新日本製薬株式会社**

福岡県福岡市博多区吉塚8-7-11

発 売 元 **新日本製薬株式会社 本社**

福岡県福岡市中央区大手門1-4-7

副作用被害救済制度のお問い合わせ先 ☎：0120-149-931